

環境のためにできることを、少しずつ。

●お客さまの省エネのお手伝い●

「省エネ快適ライフ」をご提案しています。

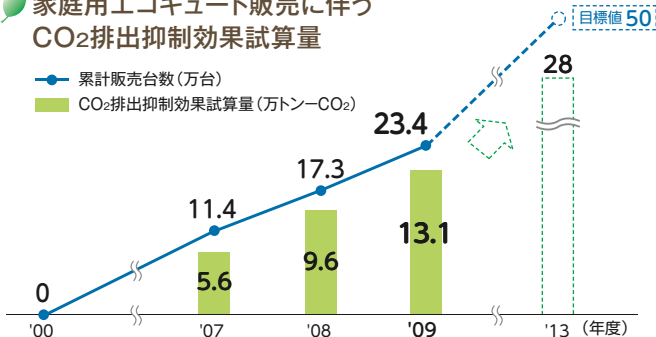
お客さまにムリなくムダなく電気を上手に使っていただき(省エネルギー)、快適で環境にやさしい生活をお送りいただく「省エネ快適ライフ」を推進しており、エコキュートの普及促進や省エネPRに取り組んでいます。

九州電力がめざしていること。

お客さまのCO₂排出量を年間9万トン以上*抑制できるようにお手伝いします。

*一般のご家庭に対する省エネPR、エコキュートの導入、太陽光の普及、及び法人お客さまへの電気式空調・給湯の普及、省エネ診断による当該年度の省エネ効果の積上げ。

家庭用エコキュート販売に伴うCO₂排出抑制効果試算量



- (注1) 「エコキュートによる給湯(当社電力使用)」―「従来型燃焼式給湯器による給湯(都市ガス使用)」のCO₂排出抑制効果試算量。
 (注2) CO₂排出抑制効果試算量は、給湯の年間負荷 18GJのモデルケースで算定(エコキュートの電気使用量: 139kWh/月、従来型燃焼式給湯器の都市ガス使用量: 46m³/月)。なお、地域、機器効率、使用条件などによって異なる。
 (注3) 販売電力量あたりのCO₂排出量は、当社の各年度実績値(CO₂排出クレジット反映後)を使用し、都市ガスの熱量・CO₂排出係数は、地球温暖化対策の推進に関する法律の「算定・報告・公表制度」における算定方法・排出係数を使用。

省エネのPR

お客さまにムリなく省エネに取り組んでいただけるよう、省エネに関する情報をわかりやすく紹介したパンフレットを配布するとともに、ホームページやテレビCMなどでも積極的に省エネのPRを行っています。

また、各営業所にホームアドバイザーを配置して、電気の上手な使い方などを紹介する講座を開いています。



省エネ関連情報パンフレット

九州電力ホームページ
<http://www.kyuden.co.jp/>

- 個人のお客さま ▶ よか生活
- よくわかる電気の省エネ

ご存知ですか?

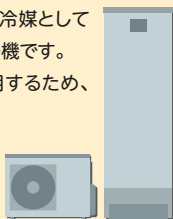
エコキュートは、空気熱でお湯を沸かします。

エコキュート(CO₂冷媒ヒートポンプ給湯機)は、自然にある空気熱を有効に利用する給湯機です。使用する電気エネルギーの3倍以上の熱エネルギーを得ることができる高効率機器で、従来型燃焼式給湯器に比べ、大幅なCO₂の排出抑制が可能となります。

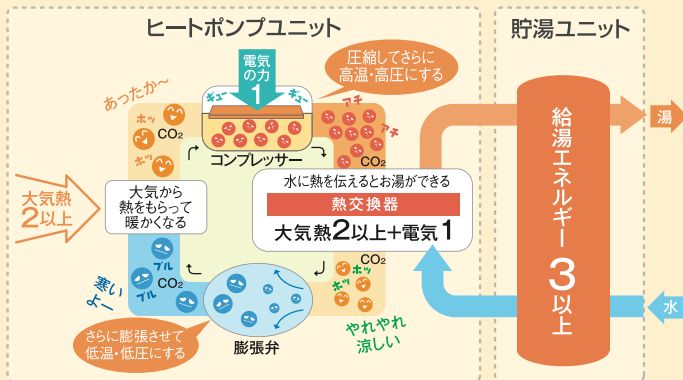
また、オゾン層に影響を与えるフロン系冷媒ではなく、自然界に存在するCO₂を冷媒としており、地球環境にとってもやさしい給湯機です。

さらに、割安な夜間の電力を利用するため、家計に負担をかけません。

- (注) 割安な夜間電力を利用するためには、電化deナイトやよかナイト10に加入する必要があります。
 ・昼間の料金単価は割高になります。



*エコキュートのしくみ



九州電力は、電気のことに関するプロとして、お客さまの省エネのお手伝いをしています。また、当社自らの省エネも一層推進しています。



●九州電力自らの省エネ●

社用車に電気自動車を1,000台程度導入します。

2020年度までに、電気自動車（プラグインハイブリッド車を含む）を1,000台程度導入※1することとしており、これにより、年間約1,200トン※2のCO₂が抑制されると試算しています。

また、電気自動車の普及に向けて、急速・普通充電器の開発や充電インフラの整備に関する検討も行っています。

※1：2009年度までに計94台導入済。

※2：当社の2009年度販売電力量あたりのCO₂排出量（CO₂排出クレジット反映後）を使用して試算。

電気自動車の特徴

- CO₂排出量※が少ない（ガソリン車の3割程度）
- 総合効率※が高い
- 燃料費が安い
- 都市環境の改善（排気ガスがない、騒音が小さいなど）

※：CO₂排出量、総合効率は、エネルギーの生産・供給・消費までの全体を通しての評価。

出典：電気事業における環境行動計画（2009年9月、電気事業連合会）



電気自動車と急速充電器

環境家計簿の利用促進に取り組んでいます。

家庭部門からのCO₂排出抑制に貢献するために、環境省の環境家計簿「我が家の環境大臣 ECO Family」を活用し、電気、水道、ガソリンの使用量削減など社員の家庭における省エネ活動の一層の推進に取り組んでいます。

環境省「我が家の環境大臣 ECO Family」ホームページ
<http://www.eco-family.go.jp/>



モバイルでもチェック！



「我が家の環境大臣 ECO Family」ホームページ



「我が家の環境大臣 ECO Family」利用促進ポスター（社内に掲示）

このほか、事務所におけるオフィス電力・コピー用紙・上水の使用量の削減や、エコドライブの徹底などによる社用車の燃費向上などにも、目標を定めて、全社一丸となって取り組んでいます。

ご存知ですか？

環境にもお財布にもやさしいエコドライブ。

エコドライブとは、やさしい発進を心がけたり、無駄なアイドリングをやめるなどして、温室効果ガスであるCO₂の排出量を減らす運転のことです。ガソリン代の節約にもなるので、お財布にもやさしい運転です。



ふんわりアクセル「eスタート」

発進時、5秒間で時速20kmになることを目安にしましょう。

ガソリン約84ℓ/年の省エネ
約10,700円の節約

加減速の少ない運転

遅すぎず、速すぎず、先をみてゆるやかなアクセル操作をしましょう。

ガソリン約29ℓ/年の省エネ
約3,700円の節約

早めのアクセルオフ

前方で停止したり、曲がるのが分かったら、早めにアクセルから足を離してエンジンブレーキで減速しましょう。

ガソリン約18ℓ/年の省エネ
約2,300円の節約

アイドリングストップ

5秒以上車を停止するときは、エンジンを止めましょう。

ガソリン約17ℓ/年の省エネ
約2,200円の節約

（注）ふんわりアクセル「eスタート」、加減速の少ない運転、早めのアクセルオフについては、省エネルギーセンター「スマートドライブコンテスト」の操作別燃料消費削減割合による。アイドリングストップについては、30kmごとに4分間の割合で行うものとし、アイドリング時の消費燃料はエコドライブ普及連絡会「エコドライブ10のすすめ」の「アイドリングストップ」による。年間削減量は年間走行距離1万km（2,000cc普通乗用車）、平均燃費11.6km/ℓで計算。ガソリンの節約額は128円/ℓで計算。